

一般質問通告表

1.

4番 小中 真樹雄 議員

質問形式 一問一答

小学校・中学校のオンライン授業の制度設計について問う

新型コロナウイルスによる長期の学校休校により、小学校・中学校の夏休みが大幅に短縮され、子供たちは酷暑の中登校し、遅れたカリキュラム消化のため、学習に励むことになりました。前の定例会でも指摘しましたように、再度の休校に備えオンライン授業の早期の体制構築が必要とされます。

そこで夏休み中に生徒・児童に登校させる代わりに、オンライン授業や補習を行った箕面市への取材を踏まえ、大竹市の取り組みについて聞きたいと思います。箕面市では、熱中症対策などのため、今夏オンライン授業を実施しました。8月3日から7日には、市内20校の小学校・中学校（うち2校は小中一貫校）約1万2,000人の児童生徒のほぼ100%が参加してオンライン授業が実施されました。また、8月17日から21日には、希望者のみが参加する補習があり、小学生は学年の半分、中学生は各学年10人程度が参加したそうです。

通信環境の整っていない家庭には、市がタブレットとモバイルルーター（20ギガ）を無料で貸し出しました。箕面市では、ICT教育への取り組みが早く、何度も講習を行い、ほとんどの教員がスキルをマスターしたとのこと。実際にやってみて、オンライン授業は、受講者が多いため、回線のパンクや混線でつながらないケースなどもあったようですが、補習のほうは人数が少ないこともあり、和気あいあいと割合うまくいったそうです。

家庭での反響については、暑い中、学校に通わせないで済むのはありがたいとの声がある一方で、共働き家庭の低学年の子は、操作方法などを教員が教えるため登校しなければならないケースも出てきて、そこまでしなくてもとの声も出たとのこと。さらに改善点を精査していくとのこと。

一方、普段の授業でのタブレットの活用方法を聞いたところ、双方向型の課題解決学習を行っているとのこと。しかし、小学生の場合は教師と児童の間のやりとりのみで、児童同士のやりとりには使えないとのこと。また、低学年では、興味を持たせて注意力を長続きさせるためには動画の活用なども必要との指摘がありました。

貸し出し用モバイルルーターの不正使用については、現在のところは規約に条項を設けているものの、防止策はないとのこと。実際、20ギガなので、ユーチューブに使用して授業の時に使用できなかったケースがあるそうです。体制を構築するには、1日も早いタブレットの1人1台体制の整備が必要不可欠とのことでした。

そこで市教委に問います。

前の定例会においてギガスクール構想の前倒しの説明がありましたが、1人1台に向けタブレット調達のめどは立ちましたか。指導教員の習熟度を高めるための講習の実施方法は。通信環境のない家庭への対応については状況を調査するとしていましたが、調査の結果はどうなりましたか。箕面市のケースにみられるように、モバイルルーターの無料貸し出しが現実的だと思いますが、対処方法は決まりましたか。さらに、対面授業におけるタブレットの使用法についてはどのように検討されていますか。

生まれた場所の違いや家庭の経済格差により、オンライン授業が受けれたりそうでなかったりするような「教育格差」は1日も早い解消を目指さなければなりません。市教委には、

オンライン授業実施のため、早期の制度設計、工程表の作成をお願いしたいと思います。

2.

15番 寺岡 公章 議員

質問形式 一問一答

子ども達の学びと育ちを確保するために

学校行事の中止・無期限延期・規模縮小が繰り返されています。教育委員会や学校現場では断腸の思いの中での決断であると理解しています。

今のところ、工夫のなかで何とか授業数の確保に至りそうな事に感謝しながら、平常時に学校行事が担ってきた児童生徒の学習機会、成長機会は損なわれたまのようです。

これまでの教育界で、発育発達の段階に合わせて考えられてきた教育手法としての各行事には、それぞれ教育的意義があるはずです。その学びと経験が欠けたまま卒業を迎えることは、将来の社会の大きな損失につながりはしないかと心配しています。

また、シンプルに少年少女時代の思い出という視点からも、現状を看過しておいては、長らく謳っている「大竹を愛する人づくり」に良い影響を及ぼすとは思えません。ふるさと大竹での思い出はその子の郷土愛に直接つながりますが、今のままではその子が将来的に大竹を愛してくれる要素が削られていくことも心配しています。

学校行事の中止・無期限延期・規模縮小による学習機会、成長機会の損失について、諸々の不安を払拭させてください。

- ①学校での教育でどう補完していきますか。
- ②家庭での教育や子育てに呼び掛けることはないでしょうか。
- ③社会教育にも出番はありますが、どんな取り組みをしますか。
- ④ちなみに保育所や幼稚園など未就学児の様子はいかがでしょうか。

3.

14番 日域 究 議員

質問形式 一問一答

栗谷線バスの利用促進を問う

廿日市市のバスは一律 150 円。岩国市のバスは 70 歳以上は 100 円で障害者は半額。大竹市のこいこいバスは 200 円均一。しかし、栗谷線は最高 780 円で例外なし。その結果大赤字の上に乗客は 1 便平均僅か 1.5 人。過疎地の公共交通が赤字なのは仕方ない。しかし、余りにもお粗末。大竹駅から玖波駅のバスは中川市長時代に新規に始めて短期間で中断。その経験を生かして作り上げたこいこいバスは苦心の策。栗谷線と坂上線は単に広電と JR を引き継いだけで工夫がない。それでも岩国市は高齢者 100 円を適用。大竹市も少しは工夫をしよう。

大竹地区の雨水排水について問う

①新町ポンプ場の新設を計画したまま 44 年が経過。その計画で水は小瀬川にどの様に排水することになっていたのでしょうか。

②水は山間部では速く流れ平野部では速度が落ちます。水路幅 2 メートルで処理できる水の量は僅か。毎時 49 ミリの降雨と言われる現在の雨水計画での雨量ですが、大竹市の今の整備状況でいったい毎時何ミリまで耐えられますか。

③太田川事務所に持参してまともに協議が出来るような計画が出来るのはいつ頃でしょうか。地元が反対するなどと、責任転嫁するのはやめましょう。本当に必要なら強制執行も。

小方まちづくりについて問う

市有地の有効活用。遊ばせるのは最悪です。広島駅北の国有地は売っても空き地で困ります。貸せるのであればそれも一考の価値。売って入ってくる固定資産税と、貸して入ってくる賃料。財政的にはどちらが有利ですか。20年計画で貸してその間収入を得ながら考えるのと、先に駅をという考えの下、無収入で時間を浪費するのと二者択一です。売るか否かではなく、使わないことの損失が恐いのです。空き家・空き地対策の必要性に通ずる問題です。

4.

10番 和田 芳弘 議員

質問方式：一問一答

空家対策

①6月議会で大竹市空き家バンクの登録件数は0件でしたが、その後大竹市空き家バンクへの登録はありましたか。

②平成29年度に実施した空家等実態調査数は、573件とありますが、所有者は全部わかっていますか。また、固定資産税は全額納付されていますか。

③建築物の老朽度・危険度ランクD・Eのうち特定空家候補の6件については、いつ指定をしますか。

5.

3番 原田 孝徳 議員

質問形式 一問一答

「人口減少」「安心安全」「優先順位」

～小方・玖波のまちづくりと中山間地域の防災、そして新町ポンプ場の問題～

人口減少問題、地方創生の基本は人を育み大切にすることである。小方地区のまちづくり基本構想は、それらをトータルして良い方向に導く可能性を秘めており大変重要な事業だが、それとともに玖波地区の人口減少や、中山間地域の防災、新町雨水排水ポンプ場の問題は、安心・安全という観点から非常に深刻な問題である。特に、新町雨水排水ポンプ場については、想定以上の事態が起こった場合、人命にも関わるためスピード感のある対応が求められるが、この懸案である事業を優先順位としてどのような位置づけにあると考えているのかを問う。

6.

6番 小田上 尚典 議員

質問形式 一問一答

公共交通の経路検索から見るオープンデータの今後について

8月から公共交通機関の経路検索において、一部路線が表示されるようになりました。標準的なバス情報フォーマットを活用されはじめた今だからこそ、今後の公共交通の経路検索や情報整理の方針。その先のオープンデータの公開について伺います。

公共施設における公衆無線LANの整備・活用について

今年度は市内の小学校・中学校の生徒全員分のタブレットを整備することが決まっていますが、公共施設における公衆無線LANの整備状況に変化はありますか？日頃からインターネットの使える環境整備は平常時、災害時どちらでも有効活用できると思いますが、お考えを伺います。

7.

16番 山本 孝三 議員

質問形式 一括

新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染症の現状はいまだ安心できるものではありません。誰もが安心できるPCR検査の実施に取り組むべきと思います。市としての対応について伺います。

小瀬川水系の三つのダム放流による災害防止等について

利水優占のダム管理が、事前放流の障害になってきました。しかし、国土交通省はいずれのダムについても事前放流を認め、下流の二次被害防止に努めるとしています。具体的な説明を求めます。

また、小瀬川水系に関し、台風シーズンを迎えるこの時期、災害防止対策について関係機関及び大竹市の取り組みを伺います。

8.

8番 北地 範久 議員

質問方式：一問一答

主要建設事業の進捗状況について

今年度スタートした大型予算ですが、スタートと前後して、新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し始め、世の中は一変し、社会経済活動も停滞し、さまざまな業種が大変な危機に陥り社会経済状況は混沌としてきている現状において、特に計画的に進めるべき建設事業について、当初計画と比べ、コロナ禍の影響や、残り半年となった工期も含め、進捗状況がどのようなになっているのかお伺いいたします。

緊急時に対応できる道路整備について

玖波地区や鳴川地区の国道2号と高速道路の間に緊急時の迂回路を兼ねた生活道路の整備が必要と思うが、この道路整備について、計画の状況がどのようなになっているのか。現状をお伺いいたします。